

基本構想に係る開催候補地の選定条件等の考え方について

開催候補地（式典会場）の選定については、（公社）国土緑化推進機構の「全国植樹祭・全国育樹祭運営要綱」に基づき、先催県の開催状況及び本県の実情等を踏まえながら、総合的に評価し準備委員会として式典候補地を選定。

1 国土緑化推進機構「全国植樹祭・全国育樹祭運営要綱」における全国植樹祭の運営方法について〔会場選定等における留意事項：第4条（5）～（8）〕

第4条 〔（1）～（4）及び（9）は省略〕

- （5）植樹祭開催県は、機構と協議の上、会場を選定するものとする。この場合、交通、宿泊人員、規模等を考慮するとともに、会場の造成に当たっては、極力原地形の有効利用によって地形の変化は必要最小限にとどめるものとし、必要があれば植樹地の分散、会場と植樹地の分離等についても考慮するものとする。
- （6）参加人員は、会場の広さ、交通機関の条件等を考慮して定めるものとし、参加者の範囲は、全国植樹祭の目的、性格に適する範囲とするものとする。
- （7）全国植樹祭の開催に必要な諸施設の設置については、極力既存の施設の利用を考慮し、新設する場合は単一目的、短期利用のものは極力避け、多目的、長期利用可能なものを設置するよう配慮するものとする。
- （8）全国植樹祭の開催に当たっては、全国植樹祭の性格、目的に照らし質素に行うこととし、経費の節減に努めるものとする。

2 各県の開催候補地の選定に係る評価項目等 別紙 1

3 開催候補地に係る他県の選定条件を参考として想定される評価項目等 別紙 2

2 各県の開催候補地の選定に係る評価項目等

| 番号 | 項目 | 福島県 [2018年開催済・開催規模：9,400人] | 島根県 [2020年開催予定・開催規模：4,000人] | 滋賀県 [2021年開催予定・開催規模：5,000人] |
|----|-----------------------|--|---|---|
| | | 会場地 海岸防災林整備地(南相馬市) | 三瓶山(さんべさん)北の原(太田市) | 鹿深(かふか)夢の森(甲賀市) |
| 1 | 式典会場 | ○会場2.0haの必要面積を確保できるか、整備計画等があり確保できる見込みである ⇒実績値：式典2.5ha | ○1.0ha以上 (お野立所・表彰エリア0.075ha、アトラクション0.1ha、招待者席0.228ha、音響スペース0.14ha、サービススペース0.31ha、その他実行本部0.15ha) | ○1.0ha以上 (お野立所・表彰エリア0.1ha、アトラクション0.1ha、招待者席0.2ha、音響スペース0.1ha、サービススペース0.2ha、その他実行本部0.3ha) |
| 2 | おもてなし広場 | ⇒実績値：0.8ha | ○0.5ha以上 式典会場の隣接地に設定可能であることが望ましい | ○0.5ha以上 (出典スペース0.2ha、イベントステージ等0.1ha、その他サービススペース等0.3ha) |
| 3 | 駐車場(施設外含む) | ○3.0haの必要面積を確保できるか、整備計画等があり確保できる見込みである ⇒実績値：3.0ha | ○会場となる施設内又は隣接地等に、大型バス乗降所、式典運営等関係車両の駐車場(50台程度以上)を設置できることが望ましい | ○大型バス200台以上(5,000人÷25人/台=200台) |
| 4 | バス乗降場所(施設内) | ⇒参考：一方通行 | | ○会場内において送迎バスからの乗降がスムーズに行えるスペースが確保されていることが望ましい |
| 5 | 植樹会場 〔施設内又は隣接地〕 | ⇒実績値：4.6ha | | ○1.0ha以上(≒2,000人分(特別招待者：≒500人、出演者等：≒1,500人)) |
| 6 | 土地利用に関する制約 | ○必要な植樹場所が確保でき、土地利用に制約がないこと (公有地、県有施設等) ⇒参考：公有地 | ○土地利用に制約がないこと ・公有地、公有施設であること | ○法令等土地利用に関する制約がない方が望ましい。(土地所有状況、会場として利用可能な期間(準備期間含む)、開催後の植栽木管理状況等) |
| 7 | 会場整備に要する経費 | ○会場整備に多額の費用を要しないこと。 既存施設の一部活用等により費用が削減できる ⇒参考：山林伐開 | ○既存施設の活用 ・大規模な用地造成や修景工事等を要しないこと | ○造成等の経費がかからないほうが望ましい (山林伐開、会場造成、仮設道設置、芝生整備等に係る経費の試算額) |
| 8 | アクセス状況 | ○宿泊場所から式典会場へのアクセスが容易なこと 参加者の宿泊場所からの移動時間：60分程度、最大90分程度 ⇒当日の移動時間90分程度 | ○想定される招待者等宿泊先やレセプション会場が、式典会場から円滑な移動が可能な地域に確保できること ○会場への接続道路に迂回路があること ・災害や事故等の緊急事態に備え、想定される通行ルートの外に迂回路が存在すること ・また、何れの道路も大型バスの通行が可能であること | 【最寄りのICからの距離】 最寄りのICから30分以内に到着できる場所が望ましい (最寄りのICからの距離、所要時間) 【主要駅からの距離】 主要駅まで60分以内に到着できる場所が望ましい (主要駅からの距離、所要時間 ※主要駅は運行本数等考慮して個別に設定) |
| 9 | 荒天会場 | ○荒天場所が確保できること 宿泊施設からアクセス可能な1,000人(1,000㎡)以上収容可能な荒天会場が確保できる ⇒3,000人の収容施設を計画 | ○少なくとも1,000人程度以上を収容できる屋内施設 | ○荒天時に使用する式典会場(屋内施設)が想定されていることが望ましい (特別招待者等500人以上の規模で実施) |
| 10 | 森林・林業との関わりや会場の景観等 | ⇒参考：平坦な芝で実施 | ○会場及び周辺の環境・景観が良好であることが望ましい ・会場は、平坦な芝生広場であることが望ましい ・会場周辺は、緑に囲まれた良好な環境であることが望ましい | |
| 11 | 森林・林業面、歴史・文化面等でのアピール度 | ○復興に向けて県民が力強く歩み続ける姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信できる会場であること ○森林の再生を進めるシンボルとなる会場であること ⇒海岸防災林で実施 | ○会場となる場所やその周辺が、本県の特徴や魅力を現すなど、アピール度が高いことが望ましい | |

※各県の開催規模については、福島県は「基本計画」、島根県及び滋賀県は「基本構想」の人数を記載

3 開催候補地に係る他県の選定条件を参考として想定される評価項目等(イメージ)

| 番号 | 項目 | 案件、根拠等 〔開催規模： 人〕 |
|----|-----------------------|--|
| 1 | 式典会場 | 2.0ha以上 |
| 2 | おもてなし広場 | 0.6ha以上 |
| 3 | 駐車場(施設外含む) | ※参加人数による |
| 4 | バス乗降場所(施設内) | 会場内においてバスからの乗降がスムーズに行えるよう一方通行が可能であることが望ましい |
| 5 | 植樹会場 | ※参加人数による (1.0ha~2.0ha) |
| 6 | 土地利用に関する制約 | 土地利用に制約がないこと ・ 公有地、公有施設であること |
| 7 | 会場整備に要する経費 | 既存施設等の活用 ・ 大規模な用地造成や修景工事等を要しないこと |
| 8 | アクセス状況 | アクセス時間等については、(公社)国土緑化推進機構と今後協議 |
| 9 | 荒天会場 | 500人~1,000人 |
| 10 | 森林・林業との関わりや会場の景観等 | 会場は、平坦な芝生広場であることが望ましい |
| 11 | 森林・林業面、歴史・文化面等でのアピール度 | (1) 会場となる場所やその周辺が、本県の特徴や魅力を現すなど、アピール度が高いことが望ましい (2) 復興に向けて県民が力強く歩み続ける姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信できる会場であること (3) 森林の再生を進めるシンボルとなる会場であること |

※ 開催規模(参加人数)が確定後精査する。